

# コープデリ宅配の 集品センターの現状と、 欠品・点数制限について

4月7日に緊急事態宣言が発出されて以降、コープデリ宅配への期待の高まりから、たいへん多くのご注文をいただいております。

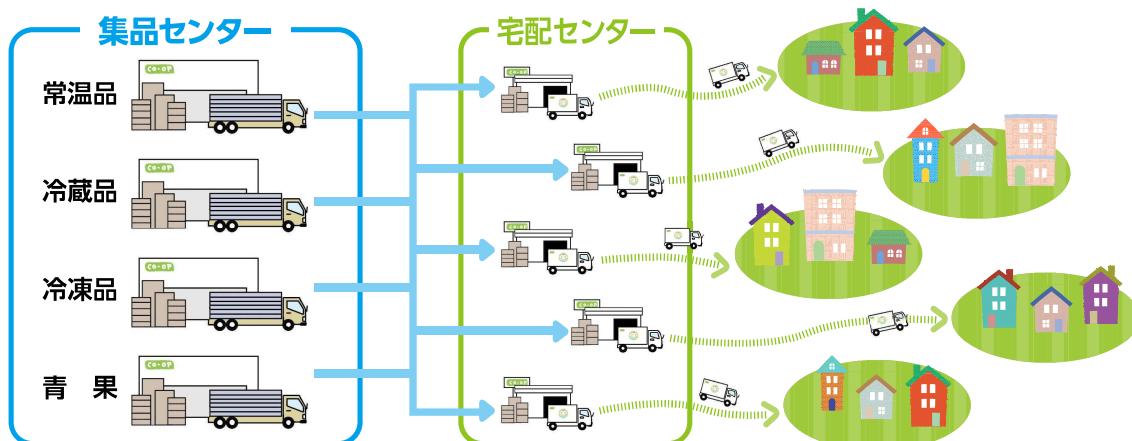
しかしながら、現在、商品をセットする集品センターで、対応できる限界を超えたことから、多数の欠品や点数制限を発生させてしまい、組合員の皆さまには多大なご迷惑、ご不便をおかけしております。誠に申し訳ございません。

以下、現状についてご報告いたします。

## コープデリ宅配の集品センターについて

コープデリ宅配には、温度帯ごとに常温品7カ所、冷蔵品8カ所、冷凍品6カ所、青果6カ所の物流施設(以下、集品センター)があり、合計約6,500人が働いています。

各集品センターでは毎週メーカーや産地から受け取った商品を通い箱へセットし、宅配センターへ出荷しています。



## 通い箱へのセット作業について

ご注文点数は、3月以降、週を追うごとに増加し、4月は通常の120~135%増となっています。

例えば、常温品の集品センターでは、1本のラインで1時間あたり約1,500箱に商品をセットできます。1日二交代制の15時間稼動で処理できる上限は、7センター合計で約31万箱ですが、3月以降、33万箱を超える状態が続いております。



一定の速度でライン上を流れる箱に、注文された商品を入れていきます。

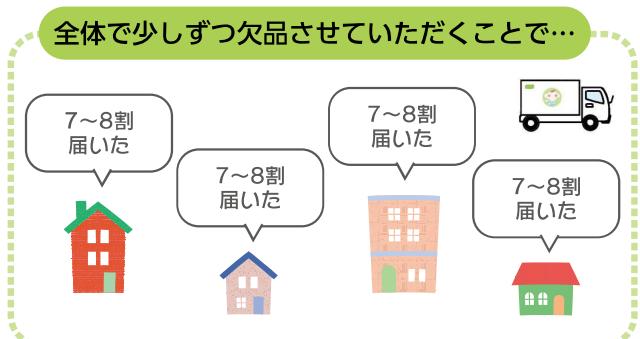
## 出荷・納品時間について

例えば月曜お届け分の商品は、日曜の朝から箱にセットをはじめ、約15時間かけてセットを完了します。その後、常温、冷蔵、冷凍、青果などの全温度帯の集品センターから、それぞれ配送のトラックが月曜日の早朝までに各宅配センターへ納品します。

集品センターでのセットが終わらないと、宅配センターからトラックが出発できず、「組合員皆さまの約束の時間どおりにお届けできない」「特定の温度帯の箱だけ全くお届けできない」などコープデリ宅配が機能不全になってしまいます。



曜日に関わらず、一人でも多くの組合員に商品をお届けするため、やむなく「欠品」とさせていただくことで、商品点数を抑制し、集品センターの能力と制約時間内に収めています。



### 欠品を減らすために行っていること

現在、欠品を少しでも減らすために、「一部のチラシ・カタログの配布休止」「ご注文が殺到してしまう最安値企画の休止」「お一人1点までのご注文に制限」「抽選でのご案内」などの対応を進めています。また、集品センターの人員増、カタログでの取り扱い商品数の削減などに取り組んでいます。

## 組合員の皆さんへ

私たちは生協として組合員の皆さまのくらしを守る使命のもと、コープデリグループ全職員の健康を守りながら、生活必需品を1品でも多くお届けできるよう努力しております。今後も、多くのご迷惑、ご不便をお掛けすることと存じますが、この事態を乗り切るために、何卒、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

末筆ではございますが、組合員みなさまとご家族の安全と健康を、心より祈念しております。

